

北区障害者地域自立生活支援室より

支援室だより

第91号 (2018年8月発行)

【年6回偶数月月上旬発行】

相談窓口

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター内

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL:peernet@peernet.or.jp

開所日時:月～金 10時～18時 土 10時～17時 *日・祝・年末年始は休み

“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「ろくせいかい点字サークル六星会(福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、「音訳グループやまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(TEL・FAX 兼用:03-3905-7226)

今号の内容

- 国際福祉機器展 2018 のご案内 1
- ハンドメイド教室<<2期>>のご案内 2
- 成年後見制度講座のご報告 3
- 北区障害者関係機関ガイドブック 2018 が完成しました 4・5
- 【情報提供】日本点字図書館チャリティ映画会のご案内 6
- 【情報提供】JR 埼京線板橋駅にエレベーターが設置されました 7
- 【情報提供】東京都美術館「障害がある方のための特別鑑賞会」のご案内 8

国際福祉機器展 2018 のご案内

毎年、世界中の福祉機器が一堂に集まる「国際福祉機器展」。今年は下記の日程で行われます。なかなか見ることのできない福祉用具もたくさんあり、また実際に体験することもできます。この機会にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

第45回 国際福祉機器展 H.C.R.2018

期日:2018年10月10日(水)～12日(金)

10:00～17:00

会場:東京ビッグサイト東展示ホール(有明)

入場料:無料

14カ国1地域
547社の福祉機器を総合展示!

【お問い合わせ】一般財団法人保健福祉広報協会 (H.C.R.2018 事務局)

電話:03-3580-3052 FAX:03-5512-9798

ホームページ:<http://www.hcr.or.jp/>



ハンドメイド教室 ～2018 2期～



毎回、大好評をいただいているハンドメイド教室を今年度も開催します！

昨年は、オリジナル鞆、和風しおり、カレンダー作製といった手芸と、お好み焼き、ビーフシチュー、ピザなどの昼食づくりを行いました。

みんなでワイワイ手作りを楽しみませんか！？

【日 程】

第1回	9月29日(土)	10:00～12:00	簡単な手芸・工作 を行います
第2回	10月6日(土)		
第3回	10月13日(土)		昼食を作ります

【場 所】 障害者福祉センター2階 北区障害者地域自立生活支援室

【対 象】 区内在住・在勤・在学の、「愛の手帳」をお持ちの方で一人での参加が可能な方。全3回参加可能な方。

※初参加の方のみ、ご記入いただきたい書類がございますので、保護者の方も一緒にお越しください。所要時間は10分程度です。ご来室が難しい場合は別途ご相談ください。以前に参加されていた方で、書類への記入がまだの方もお手数ですがご来室ください。

【定 員】 6名(定員を超えた場合は抽選)

【参加費】 一回毎に300円(材料費など)

【持ち物】 エプロン・三角巾、ハンドタオル

【申込方法】 9月14日(金)までに、電話(3905-7226)にてお申込みください



成年後見制度講座のご報告

7月6日（金）に成年後見制度講座「障害者の成年後見～家族の方にお話を伺います～」を開催しました。当日は、市川市社会福祉協議会の方、市川障害者権利擁護連絡会家族会の方々にお越しいただき、いろいろなお話を伺いました。成年後見制度をわかりやすく解説した紙芝居も披露していただき、堅苦しい内容の多い成年後見制度をととてもわかりやすく説明していただきました。

今回は、講座の中でお話のあった「後見人を「つける前」と「つけた後にも」知っておくこと」をご紹介します。



《後見人を「つける前」と「つけた後にも」知っておくこと》

成年後見制度は、一度後見人をつけたら生涯はずすことのできない制度です。つけた後、こんなはずではなかったとならないよう、事前に制度を知っておくことが大切です。

○後見人を誰にするか、家族なのか、第三者なのか考えておきましょう。

○どんな状況になったら成年後見制度を利用するのか、家族で前もって話しておきましょう。

○本人のことを後見人の方に託すとき、本人に関する記録があることがとても大切です。

・本人が何を好きで、何をしたいかなど記録しておきましょう。またどこで暮らしてほしいか、誰と暮らしてほしいか、家族の思いも伝えておきましょう。

・本人のお金について、今どんな使い方をしているのか、将来はどんなことに使ってほしいかを記録しておきましょう。1ヵ月の収支・1年の収支・臨時の出費など、おおまかでよいので記録しておくことが大切です。その記録は、後見の申請手続きの時にもとても役に立ちます。

○申し立てをする前に

・障害のある人の後見期間は非常に長いです。第三者後見人の場合、後見報酬額は、本人の資産や後見人の仕事量によって家庭裁判所が決めますが、おおよその目安はある程度分かります。前もって報酬額を含めた資金計画を立てておくことも大切です。

○後見人が決まったら、我が子のことをしっかり伝えるとともに、後見人が我が子のために具体的にどんなかわり方をするのか、本人への訪問回数や報酬額についても、遠慮せずきちんと聞いておきましょう。

○後見人をつけた後にも、後見人の活動など、どうしても納得できない場合、家庭裁判所に伝えましょう。

北区障害者関係機関ガイドブック 2018 が完成しました

今年も関係機関のご協力のもと、「北区障害者関係機関ガイドブック 2018」が完成しました。「子ども編」、「就労・日中活動編」、「生活編」の3部構成です。冊子は編ごとにお配り致しますので、ライフステージに合わせてご利用ください。

《北区障害者関係機関ガイドブック 2018～子ども編～》



クリーム色の表紙です

掲載機関

・区役所、相談機関	9 箇所
・医療と療育の施設	1 箇所
・障害者参加支援施設	1 箇所
・児童相談所	1 箇所
・児童発達支援事業	4 箇所
・放課後等デイサービス	20 箇所
・療育機関	6 箇所
・特別支援学校	3 箇所
・日中一時支援	1 箇所
・短期入所（ショートステイ）	3 箇所

《北区障害者関係機関ガイドブック 2018～就労・日中活動編～》

掲載機関

・区役所、相談機関	8 箇所
・医療と療育の施設	1 箇所
・障害者参加支援施設	1 箇所
・児童相談所	1 箇所
・生活介護	6 箇所
・就労継続支援 A 型	3 箇所
・就労継続支援 B 型	19 箇所
・就労移行支援	11 箇所
・自立訓練（機能訓練）	1 箇所
・自立訓練（生活訓練）	4 箇所
・障害者就労支援事業	2 箇所



水色の表紙です

《北区障害者関係機関ガイドブック 2018～生活編～》



ピンク色の表紙です

掲載機関

・区役所、相談機関	8 箇所
・医療と療育の施設	1 箇所
・障害者参加支援施設	1 箇所
・児童相談所	1 箇所
・共同生活援助（グループホーム）	24 箇所
・重度身体障害者グループホーム	1 箇所
・宿泊訓練施設	1 箇所
・日中一時支援	1 箇所
・短期入所（ショートステイ）	4 箇所
・家族会	1 箇所

ガイドブックは東京都北区のホームページ、また NPO 法人ピアネット北のホームページに掲載しております。こちらもお活用ください。

●東京都北区のホームページ

URL : <http://www.city.kita.tokyo.jp/>

「健康・医療・福祉」→「障害のある方」→「障害者総合支援法」→「障害者総合支援法（自立支援給付・地域生活支援事業）」のページの下段「関連資料」にガイドブックの各編が掲載されています。選択しご覧ください。



●NPO 法人ピアネット北のホームページ

URL : <http://peernet.or.jp/>

「発行物」のページから「北区障害者地域自立生活支援室の発行物」より「北区障害者関係機関ガイドブック」の各編を選択しご覧ください。

ガイドブックは支援室にて無料で配布しております。ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



日本点字図書館チャリティ映画会のご案内

日本点字図書館の秋のチャリティ映画会が開催されます。ご興味のある方はぜひご覧ください。

「5パーセントの奇跡 ～嘘から始まる素敵な人生～」

(2017年 ドイツ映画)

- 日本語吹き替え版
- FM 電波による視覚障害者のための音声解説、バリアフリー用日本語字幕付き上映
- 映倫によりPG-12指定を受けています。

あらすじ：ドイツ人の母、スリランカ人の父の間に生まれたサリヤ（通称：サリー）の夢は、立派なホテルマンになること。しかし10代の時に突然、病気による網膜剥離を発症し、視覚の95%を失ってしまった。それでも夢をあきらめたくない彼は、一世一代の大芝居を打つことに！ 視覚障害を隠し通してホテルマンになるという、奇想天外な挑戦を始めることになる。大学の授業を丸暗記で乗り切り、ミュンヘンにある最高級の5つ星ホテルで見習いをスタートさせたサリーは、周囲の助けを借りながら、持ち前の明るさと機転を利かせ、次々とホテルの研修をクリアしていく。しかし、ある女性との出会いをきっかけに、それまで完璧に思えた精巧な偽装がほころびはじめる。サリーは、夢をかなえることができるのか……？



日時：2018年9月28日（金曜日）

開演：午後7時（開場 午後6時30分 終演 午後8時51分）

会場：なかのZERO 大ホール（JR・東京メトロ東西線 中野駅 南口 徒歩8分）

価格：1,500円（全席自由席）※当日券のみ小人・学生800円（学生は学生証をご提示ください）

12歳未満の方は、保護者の方が同伴の上ご来場ください。保護者の助言・指導が必要な映画です。

《チケットのお求め、お問い合わせについて》

チケットのお求め方法は、お電話・インターネットによるお申込み（わくわく用具ショップ）、日本点字図書館受付での直接購入、会場での当日券購入がごございます。チケットは全席自由です。

日本点字図書館総務部総務課 電話 03-3209-0241(代表) Eメール nitten@nittento.or.jp

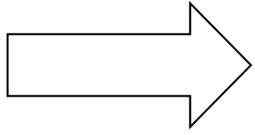
JR 埼京線板橋駅にエレベーターが設置されました

JR 埼京線「板橋駅」にエレベーターが設置されました。このエレベーターが設置されたことにより、車イスでも西口改札の利用が可能になりました。

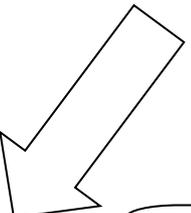


西口改札からエレベーターに乗って地下通路
へ向かいます

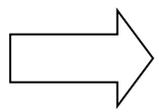
地下通路に到
着しました



地下通路を歩いていくとホーム階へ
行くエレベーターがあります



ホームに到着です！



車イスやベビーカーでのお出かけが便利になりますね。
板橋駅は、現在も改良工事中でさらに使いやすくなる予定です。

東京都美術館「障害がある方のための特別鑑賞会」のご案内

東京都美術館では、普段は混雑している特別展を障害のある方が安心して鑑賞できるよう、休室日に鑑賞会を開催しています。事前申込制で年に4回開催しています。アート・コミュニケーター（とびラー）が受付や移動のお手伝いをしてくれるそうです。

当日は、展覧会を担当した学芸員による展覧会ワンポイント・トークも手話通訳付きで開催されています。今回は「ムンク展—共鳴する魂の叫び」をご紹介します。ご興味のある方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

「ムンク展—共鳴する魂の叫び」障害のある方のための特別鑑賞会

※開催日当日の受付時間は2部制[①10:00～12:30、②12:30～15:00]です。いずれも16:00まで観覧できます。お申し込みの際に必ずご希望をお知らせください。

【開催日時】2018年11月12日(月) 10:00～16:00(受付終了時刻は15:00)

【対象】身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳などをお持ちの方各回350名とその介助者(1名まで)

※対象人数を大幅に超過した場合には抽選となります。

【観覧料】無料

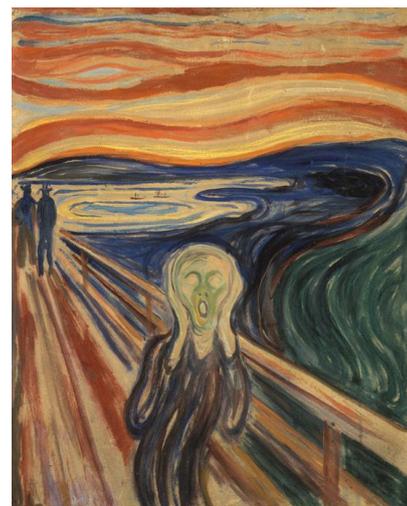
【ワンポイント・トーク※手話通訳付き】

展覧会担当学芸員が展覧会の見どころをご紹介します。

開催時間 10:30～、11:30～、13:00～、14:00～(各回10分程度)

【申込期間】2018年8月27日(月)～2018年9月24日(月・休)

※郵送の場合は当日消印有効、申込フォームの場合は当日24時までの申し込みとなります。



【申込方法】申し込み方法等は、8月27日(月)より東京都美術館ホームページ等で案内されます。

【障害のある方のための特別鑑賞会に関するお問い合わせ先】

東京都美術館 アート・コミュニケーション係 アクセスプログラム担当

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

TEL : 03-3823-6921 (代表) (平日 9:30～17:30)

FAX : 03-3823-6920

E-mail : access@tobikan.jp

発行:北区障害者地域自立生活支援室 TEL&FAX:03-3905-7226